

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2015年8月19日（水）

第538号 本号●

本日 19日 10時～17時 参院特別委員会開催

自衛隊統幕監部内部文書の存在確認！ 防衛省ぐるみ 中谷防衛大臣の責任重大

防衛省は8月17日、小池晃日本共産党副委員長・参院議員が11日の参院特別委員会で取り上げた自衛隊統合幕僚監部作成の内部文書（『日米防衛協力ための指針』（ガイドライン）及び平和安全法制関連法案について）の存在を正式に認めました。

また、18日午前の特別委員会理事懇談会でも防衛省政策局長が認め、「課題整理であり、法案の先取りではない」などと説明。これに対し、「実行部隊への具体的な説明であり、言い訳は通用しない」（共産党）、「米国議会での演説といい国会を軽視する安倍政権の姿勢の反映」（民主党）、「修正案も歓迎と総理は言いながら政府案で準備するのは矛盾、順序が逆」（維新の党）などの批判がされました。この理事懇談では磯崎補佐官の参考人再招致について、与党は改めて拒否しました。特別委員会の再開、集中審議が21日に行われることになりました。

防衛省の文書は、法案の閣議決定の翌日、国会審議もはじまっていない5月15日から作成されたもので、「8月成立2016年2月施行」として、南スーダン派遣部隊が、16年3月には「駆けつけ警護」を可能にする配置などの詳しい日程表も明記されているものです。また国会を軽視し、国民世論を全く眼中にしない暴走にはかなりません。

この文書は、戦争法案が、4月に日米両国間で取り交わされ、国会審議も経ることのない日米ガイドラインの取り決めを実行するためのものであることを鮮明にしています。しかも、「ガイドラインはその内容の実行を現行法と未成立の戦争法によるものを混在させている」と示すなど日米同盟を絶対化しています。内容からも形態、手続きからも日本国憲法を日米ガイドラインに従属させるものです。

さらに、南シナ海での平時の監視活動など関与の具体化を明記しています。これは日米ガイドラインにもとづき、中国の進出を警戒するアメリカ軍が、戦争法案の成立による自衛隊の活動範囲拡大に期待していることを背景にしたものであることは明らかといえます。

中谷防衛大臣らの国会答弁は、この内部文書の内容を述べている節があり、二重三重に事態の重大性が浮かび上がっています。

21日午後首相出席で集中審議

18日の特別委員会理事懇談会で、21日（金）午後、3時間の日程で安倍首相出席、テレビ中継入りの集中審議（審議実績と別枠）が行われます。防衛省文書をめぐる防衛大臣の責任、安倍首相の任命責任などが、磯崎補佐官問題も含め議論されます。

本日（19日）参議院安保特別委員会開催

10時から11日の残余質疑（日本共産党小池議員16分など）ののち、13時から17時、一般質疑がおこなわれます。注目の小池議員が質問します。予定は15時5分から25分です。

傍聴希望の方は憲法会議（連絡先上記、または平井携帯 080-1306-6303）へご連絡ください。